

教科	社会	単元名	縄文のむらから古墳のくになへ
----	----	-----	----------------

本時のねらい

むらからくへと変化したことを、思考ツールを活用して関連付けてまとめる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・スライドやドキュメント、クラスルーム等を活用して、集めた情報をクラス全体で共有する。
- ・思考ツールや Google Jamboard、スライド等を活用して情報を整理分析して、関連付けてまとめる。

活用したICT機器・デジ Google タル教材・コンテンツ等

- ・Google スプレッドシート ・Google スライド ・Google Jamboard

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (8分)	<p>本時の目標：むらからくへと変化したことを、関連付けてまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いを設定する。 ・本時の「問い」と「予想」を各自で設定し、スプレッドシートに入力し、考えを共有する。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの学びが孤立せず、協働的に学べるように、スプレッドシートを活用して、情報を共有する。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習で集めた情報を思考ツールや Jamboard を活用して、整理・分析する。 <u>調べ学習の方法</u> ・教科書（QRコードの活用）・インターネット ・NHK for school ・図書の本 など 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールをデータで配付し、Jamboard 上で作業し、情報の整理・分析（比較したり、関連付けたり）ができるようにする。
まとめ (7分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をふり返り、スプレッドシートに入力し、考えを共有する。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプレッドシートを活用して、学びを共有する。

本時で育む主な情報活用能力

A-STEP3, B-STEP3
C-STEP3, D-STEP2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】スプレッドシートを活用して、本時の問いや予想を設定し、全体で共有する。



【写真2】集めた情報を Jamboard や思考ツールを活用して、整理・分析する。



【写真3】スプレッドシートを活用して、ふり返りを行い、学びを共有する。

児童生徒の反応や変容

- ・「（思考ツールの）コンセプトマップを活用することで、弥生時代や古墳時代の整理・分析ができた」、「次の時間は共通点を見つけるためにベン図を使って学びたいと思います」、「Jamboard と Y チャートを使って、卑弥呼や古墳、争いの関係図をまとめることができた」など、思考スキルを意識しながら協働的に学ぶことができるようになってきた。
- ・スプレッドシートやスライド、Jamboard などを共有することで、子どもたちは、いつでも、どこでも必要な情報を得ることができるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・今までの学習では、【情報収集】を行ったあと、すぐに【まとめ・表現】をする子どもが多かったが、思考ツールやスプレッドシートを活用することで、集めた情報を【整理・分析】できるようになった。探究的な学びのサイクルが生まれつつある。
- ・単元計画を立て、パフォーマンス課題（単元を通じて育みたい力）を設定し、子どもたちに提示することで、子どもたちは学習の見通しが持ちやすくなり、いきいきと活動して、教科の学びを達成できるようになってきている。
- ・スプレッドシートを活用して、「問い」や「ふり返り」を共有しているので、授業を止めることなく、子どもたちの学びのペースにあわせて、授業が展開していく。